第2次中期事業計画 ~学びの心で世界を変える。~

# Crane翼プロジェクトII

~「随所に主となる」学校を目指して~













●鶴見大学附属中学校·高等学校

# 次の100年に向けて

11111

だいがくえんじょう ほうおんぎょうじ

「報恩行持」(感謝を忘れず真人となる)を基盤とし 本校では、建学の精神である「大覚円成」 て、学園創立90周年を機に、次の100周年に向けて教育目標宣言「学びの心で世界を変える。」を 掲げ、教育目標の達成に向けて「人間力」「基礎学力」をベースとして、「挑戦する力」「探求す る力」「共に生きる力」の5つの力の育成に取り組んでまいりました。

2024年に学園創立100周年を迎えるにあたり、改めて「自校に求められている役割は何か」 「100年後もより良い教育を行っていくためには何をしていくべきか」、初志を温ね、これからの 時代に求められる学校像として、初代校長中根環堂先生の言葉であり、現在も本校に根付いている 「随所に主となる」力を育てる学校を目指して、教育改革を実施してまいります。



#### 建学の精神

## 大覚円成 報恩行持 ~感謝を忘れず真人となる~

豊かな智慧と自立した判断力を磨くように 精進しよう。自分が生かされていることへ の感謝の念のもとに、今一番大切と考えら れることを実行し続けることが、成長につ ながるのです。



# 教育目標宣言

# 学びの心で世界を変える。

挑戦する心や新しいことに目を向け探究し ていく心を本校では「学びの心」と呼びま す。

本校での学びの中で、この「学びの心」を 養い、生徒一人ひとりが持つ価値観という 「世界」と、これから生徒たちが羽ばたい ていくグローバルな「世界」で輝くよう、 教育実践を行います。

# 育みたいカ 資質・能力

# 随所に主となる

先の見えない世の中だからこそ、幸せに生 きていくために「自分が選んだ場所・与え られた場所で、自分らしく輝く」ことがで きる力の育成を目指します。

好きな学び、好きな自分、すばらしい仲間、 すなわち自分の「好き」に出会って、自ら の夢や目標を芽吹かせ、未来に花開かせて 欲しいと願っています。

#### 組織運営理念

改革を成し遂げ、さらにその先の未来へ向かい永続的に進化を続けるためには、個々の教職員の技能を高め、強固な組織 を築かなければならない。採用から研修制度にいたり、人事・教育計画を再考し、教育職員・事務職員に加えて、さまざ まな分野のエキスパートとの協働によって子どもたちを見守り支えるチーム力を高める。

#### 人材育成理念

変容著しいVUCAの時代状況において、子どもたちを導く教育手法も常に刷新されている。教職員一人一人が広く世界を 見渡し、未来を見通し、主体的な「学びの心」を培い、常に研鑽に努め自己改革に励むことが求められている。内外の研 修制度を体系的に再構築し、回数、種類、テーマ、レベルのすべての観点において充実を期す。 ※VUCA···Volatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性)の略。目まぐるしく変転する予測困難な状況の意。

# 「随所に主となる力」を養うために

「随所に主となる」力を養うために、「主体的に学ぶ」ための教育施策を展開してまいります。

「主体的に学ぶ」ためには、「自分で自分の学習や行動をコントロールする力」を身につけることが重要となります。そのために、自身の認知活動を客観的にとらえる「メタ<mark>認知能力」、計画→</mark>実行→ふり返りといった次の行動や活動にむけての「<mark>見通す力」</mark>、生徒たちの学びや活動への意欲的な行動の源となる「動機づけ」を強化する取り組みを教育活動の中に落とし込んでいきます。

さらに、これらを良質な活動に繋げるための物理的にも心理的にも「<mark>安心して学べる環境」を</mark>整え、生徒たちが様々なことに挑戦できる場づくりにも力を注いでまいります。

# 「随所に主となる」力を養うための施策の方向性

# メタ認知能力の育成

- ・メタ認知能力育成を意識した 授業デザインの研究、データに 基づく実践とブラッシュアップ
- ・ 教科横断型授業の研究と実践

#### 鶴附メソッド

**探究的な学び、教科横断的な学びの創造** 教科エリア+ホームベース型校舎の特性を 活かして、学びの心を育みます。

# 動機づけ

- ・興味・関心を育む授業の研究と 実践
- ・持続可能な部活動・行事の構築
- ・グローカル・カリキュラムの 確立と実践

#### 鶴附メソッド

**つるふグローカル・カリキュラム** GLOBAL×LOCAL。地球規模で考え、足元から行動する力を養います。

# 見通す力の育成

- ・「授業→テスト→ふり返り」の 学習サイクル指導の見直し
- ・家庭学習のいっそうの充実に向 けた取り組みの見直し

#### 鶴附メソッド

#### Gvro手帳

手帳を活用して、自己管理能力を高めて、 PDCAサイクルを確立します。

# 安心の学習環境

- ・生徒と教員のコミュニケーションの場の充実とその時間創出の ための業務効率化
- ・研修制度の充実

#### 鶴附メソッド

#### チーム鶴大附属

教員・事務職員・スクールカウンセラー・教育相談支援員・チューター(学習相談支援員)・部活動コーチ、学園、双輪会(PTA)・鶴友同窓会が、チーム一丸となって、子どもたちの豊かな学びを支援します。

### 改革計画概要

名称 第2次中期事業計画 Crane翼プロジェクトⅡ

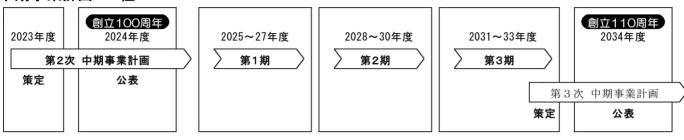
期間 2025年~2034年

#### プロジェクト理念

禅の教えを礎に、教科エリア+ホームベース型校舎を最大限に活かし、21世紀の未来を創造する人材を輩出し、広く社会の信望を集める私立学校として発展する。

グローバル化した未来を生きる力を育て、社会から高く評価され、保護者から深く信頼される学校、 すなわちステークホルダーに選ばれ、支持される卓越した中学校・高等学校を目指す。

#### 中期事業計画 工程



#### 沿革

大正 13(1924)年 4月 光華女学校設置(横浜市中区大岡町)。

中根環堂、校長に就任。

9月 学校を大岡町より大本山總持寺香積台に移転。

校舎を現在地に移転。 大正 14(1925)年 2 月 鶴見高等女学校設置。

(大本山總持寺開山常済大師 600回大遠忌記念事業)

昭和 12(1937)年 4月 光華女学校を鶴見第一女学校に校名変更。

昭和 19(1944)年 | 月 学園の経営母体を財団法人総持学園とする。

4月 鶴見第一女学校を鶴見女子実業学校に校名変更。

昭和 22(1947)年 4月 新制鶴見女子中学校を設置。

|| 月 鶴見女子実業学校を鶴見第一女学校に校名還元。

昭和 23(1948)年 4月 鶴見第一女学校、鶴見高等女学校を合併統合し、

新制鶴見女子高等学校を設置。

昭和 26(1951)年 3 月 財団法人総持学園より学校法人総持学園に組織変更。

昭和 49(1974)年 12 月 隣接地 7,500m<sup>2</sup> の校地取得。

昭和 50(1975)年 10 月 学園創立 50 周年記念式典。

昭和 53(1978)年 10 月 創立 50 周年記念体育館 竣工。

11月 テニスコート設置。

昭和 59(1984)年 10 月 学園創立 60 周年記念式典。

創立 60 周年記念講堂・図書館 竣工。

平成 6(1994)年 10 月 学園創立 70 周年記念式典。

平成 7(1995)年 7月 創立 70 周年記念 獅子ヶ谷総合グラウンド設置。

平成 12(2000)年 10 月 創立 80 周年記念 正門·前庭整備。

平成 16(2004)年 10 月 学園創立 80 周年記念式典。

平成 19(2007)年 4月 鶴見大学附属鶴見女子中学校・高等学校に名称変更。

平成 20(2008)年 4月 鶴見大学附属中学校・高等学校に名称変更。

平成 21(2009)年 3月 教科エリア+ホームベース型校舎 竣工。

4 月 高等学校仏教専修科創設。

平成 26(2014)年 11 月 学園創立 90 周年記念式典。

令和 6(2024)年 11 月 学園創立 100 周年。



初代校長 中根 環堂



開校当時の表玄関と中根環堂校長

## 学校法人 総持学園 鶴見大学附属中学校·高等学校

₹230-0063

神奈川県横浜市鶴見区鶴見2-2-1 Tel:045-581-6325 Fax:045-581-6329 https://tsurumi-fuzoku.ed.jp/



教科エリア+ホームベース型校舎(2009年竣工)